

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 6 号 令和元年 10月28日発行

学芸会へのご協力 ありがとうございます



校長 松井 操人

10月19日(土)、本校の学芸会を行いました。たくさんのご来賓、地域・保護者の皆様がお越しくださり、子どもたちに大きな拍手や温かい声援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

学芸会の「学校長挨拶」では、学芸会に向けた子どもたちの努力を賞賛するとともに、保護者の皆様のご協力にお礼の言葉を述べさせていただきました。合わせて、次の二つのことを話しましたので、紹介いたします。

子どもの「非認知能力」を高めましょう

学芸会が終わったら、お子さんの努力をぜひ褒めてあげてください。そうすることで子どもたちは「がんばってよかった」「認めてもらえた」と感じ、「次もがんばろう」という意欲につながります。意欲、粘り強さ、忍耐力、協調性、自制心など、測定することが難しい能力を総称して「非認知能力」といい、子どもたちの学習や生活の基盤になるものです。学芸会などの行事は、子どもたちの非認知能力を高めるよい機会でもあります。



「体験」を大切に

苫小牧市内の小学校では、「学習発表会」というかたちにして、劇を行わない学校もあるようです（「学芸会」の名称を使っているのは5校しかありません）。将来の役者を育てるわけではありませんが、「劇」に取り組むという体験を大事にしたいと考えています。なにごと「やってみる」ことが大切です。



11月は「親子読書強調月間」～同じときに、同じ場所で～



親子で同じ本を読んで感想を語り合うのもいいですし、異なる本を読んでどこがおもしろいかを紹介し合うのも楽しそうです。できるなら、時間を決めて「親子読書タイム」を設定してはいかがでしょうか。清水小学校図書室でも「ビンゴゲーム」の取組を行います。保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「こんなに毎日、直接顔をつき合わせているのに、一冊の本を介することで、かえって息子の心に近づけたことがふしぎだった。」

(平野啓一郎：著 『ある男』より)

11月は

「親子読書」

強調月間です

親子いっしょに
同じ時間、
同じ場所で
読書しましょう



苫小牧市教育委員会・苫小牧市立中央図書館